

2020年度（令和2年度）

社会福祉法人なごみ福祉会 事業計画書

社会福祉法人なごみ福祉会

1. 社会福祉法人なごみ福祉会の運営理念

人が共に生き仲良く暮らしていくために、利用者が「憩いの場」として安心して活用できる施設でありたいと願っています。そのために基本的に「メンバー（利用者）の自主性」を尊重しながら運営にあたっていきたいと思っています。その結果、社会の一員として立派に自立できることを目標とします。

また、今年度は法人の運営理念を分かりやすく表すためのロゴマーク改変を行います。

2. 利用者・家族の地域での生活実態やニーズを把握しながら、地域での暮らしを支える拠点としての活動を引き続き推進します

利用者が主体となって活躍できる事業運営を今後も邁進し、利用者とその家族の地域での暮らしを支える拠点としての活動を引き続き推進していきます。

その為にも、「何かあったらミーティング」を合言葉に利用者との対話を通じたコミュニケーションを積極的に実施し、多様性のある利用者を受け入れる地域での「ともに支え合う居場所」としての事業所づくりを目指して運営していきます。

3. より地域に開かれた事業所を目指し、ボランティアや実習生の受け入れを積極的に行い、堺市内外の事業所・機関と連携を行います

地域活動に積極的に取り組み、ボランティアや実習生・研修生の受け入れをこれまで以上に積極的に行い、様々な活動において堺市内外の事業所・機関・企業と連携を積極的に行うことで、より地域に開かれた事業所運営を目指します。

4. 事業所の拡充を行います

ゆとりある事業所運営を目指し、事業所の拡充を計画していきます。主たる事業所であるY o u ・ I ハウス（堺区）の安定した事業運営を目指し法人所有物件での運営の検討を行います。従たる事業所である愛和ハウス（北区）の移転及び独立した事業所運営を目指して移転先の確保等の計画の遂行を行っていきます。

Y o u ・ I ハウスの改修を行い、作業場の充実と衛生面を整えます。

さらに新規事業（地域生活支援センター、グループホーム、ヘルパー派遣事業）についても、引き続き検討を推し進めます。

5. 防災対策を継続的に取り組みます

防災対策について継続的に取り組んでいきます。地域の事業所・機関と連携し、有事の際にどう行動すべきか社内外研修や避難訓練等を通して繰り返し見直しを行っていきます。

6. 人材育成と労働環境の整備・改善を行います

障害特性に応じた個別支援をより推進するための社内外研修を積極的に実施するとともに、十分な人員配置を行っていきます。さらに、在職員による福祉専門職への積極的な挑戦を支援し、将来の法人運営を担う職員の確保・定着・育成を行うために労働環境の整備と業務改善を行います。

7. 虐待防止及び利用者の権利擁護に関する取り組みを推し進めます

職員の障害特性の理解と対応力の向上、及び利用者相互の障害特性の理解を目指した事業所運営を行っていきます。

特に職員への虐待防止と権利擁護についての研修を積極的に実施していきます。そして、より利用者視点での運営が可能となる事業所運営に邁進できる職員育成を目指し、支援技術向上のため毎月の社内研修実施と資格取得支援制度の利用の促進を行います。

8. ピアサポート活動に関する取り組みを推し進めます

ピアサポート活動をよりメンバー主体で積極的に行えるよう支援を行うとともに、安心して活動が行えるよう取りくんでいきます。

以上